

事務事業名		さかなグルメのまち地域振興事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目	
	施策名	03 にぎわいあふれる商業・観光の推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計	款
	基本事業名	02 滞在型観光の推進		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成28 年度～)		01	07
根拠法令				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度		01	04
所属	部課名	商工港湾部観光交流推進室		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分	
	次長名	森 正				A 政策事業 B 施設整備	
	係名	電話	27-3111			C 施設管理 D 補助金等	
	担当者	高田 航輔	内線			115	E 一般(A～D以外)
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
「さかなグルメのまち大船渡」の活動は、平成28年から、民間メンバーを中心に、官民一体となり、本格的に取り組を進めている。第一弾として、市民に親しみのある「さんま」をテーマに絞り、「さんまと言えば大船渡」と言われる状態を目指す活動を実施。当該実行委員会の各種活動は、市民により構成される「さかなグルメのまち大船渡実行委員会」が中心となり実施しており、当室では事務局を担っている。 水産のまち大船渡の経済復興協議会の「さかなグルメのまち大船渡実行委員会」が実施する「さかなグルメ」普及イベント開催事業に対し、事業費の一部を負担している。 事業費は、イベント経費や大漁旗コンテスト等の運営経費となっている。				国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0			
				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
・大船渡市内飲食店での「さかなグルメフェア」の実施 ・PRキャラクター「秋刀魚武士」を活用したさかなグルメのまちのPR ・さんま直送便レター及び大漁旗コンテストの実施		ア	事業実施数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同じ		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
直接対象 水産のまち大船渡の経済復興協議会 間接対象 市民及び観光客(潜在的な観光客数)		名称	
		単位	
		カ	さかなグルメ普及イベント参加店舗数
		キ	全国の人口(基準日10月1日)
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・実行委員会の効果的かつ円滑な運営をしてもらう。 ・より多くの市民に関わってもらい、さんまへの想いを醸成する。 ・さんまにより面白い活動をするまち、「さんまと言えば大船渡」の周知		名称	
		単位	
		サ	さかなグルメ普及イベント参加店舗数
		シ	観光入込客数(年実績)
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・大船渡市を訪れる。 ・魅力がPRされ、認知度が高まる。			

(2) 総事業費・指標等の推移								
		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	1,098	1,000	1,000	1,000	1,000
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	550	500	1,000	1,000	1,000
	事業費計(A)		千円	1,648	1,500	2,000	2,000	2,000
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200	200
		人件費計(B)	千円	800	800	800	800	800
		トータルコスト(A)+(B)		千円	2,448	2,300	2,800	2,800
⑤ 活動指標		ア	事業	6	6	8	8	8
		イ						
		ウ						
⑥ 対象指標		カ	店	10	19	20	25	35
		キ	千人	125,669	125,559	124,310	123,751	123,161
		ク						
⑦ 成果指標		サ	店	10	19	20	25	35
		シ	千人	430	484	550	640	797
		ス						

事務事業ID	1713	事務事業名	さかなグルメのまち地域振興事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成28年度から事業開始。官民が協力し、市民の誇り醸成に繋がると考え、魚食を通じたさかなグルメによる地域振興を実施することとして始められた。活動の第一弾として「さんま」をテーマにした活動を展開し継続している。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・平成28年度からの活動であるが、初年度の活動としては、市民を中心に、「さんまと言えば大船渡」の機運の醸成の基礎を構築。継続して実施した結果、徐々にではあるが取組による成果が現れている。 ・本州水揚げ日本一を誇る「さんま」を食のけん引役としていたが、水揚げの減少や価格が高騰していることから、新たなけん引役の検討が求められている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	ワークショップ等を通じて、ともにまちづくりをしたいと、参画希望者も現れているほか、これまでに実施した取組について課題等を整理し、活動をより充実化させたい旨、要望が挙がっている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 地域資源の「さんま」をはじめとする水産物により、積極的なイベント展開、グルメによるまちづくりを進めることで、交流人口の増大を図が図られることから、市の政策に直結するものである。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 本事業は、官民が合同となり、進めている事業であり、特定の事業所の利益に繋がるようなものではなく、「さかなグルメ」といえば大船渡としての市全体のイメージアップやPR、まちづくりのために行なわれていることから、市が関与することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 継続した取組により本事業取組が徐々に認知されており、成果にも結びついていることから対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 各種取り組みがなされある程度の成果があったが、さかなグルメ普及イベント参加店舗数を増やすため、さんま以外の魚種についても活用を検討していくほか、これまでの課題を整理し、活動をより充実化させたい旨、要望が挙がってきている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 事業を廃止した場合、密接になりつつあった、行政と民間の連携体制が切り離されるとともに、信頼関係が崩れ、まちおこしや観光振興にも影響を及ぼすことになる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の削減が成果の低下に直結する。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 行政と民間で連携して事業を実施しており、現在行っている事務も必要最小限度であることから削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	事業の内容が一部の受益者に偏っている不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 特定の業種・業者の利益にならないような、幅広い委員の構成にするとともに、希望者の参入が可能な体制としている。事業内容に関しても、特定の業社の利益ではなく、まち全体のイメージアップ、まちおこしを目的としている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																				
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上		●																			
維持			×																		
低下		×	×																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
<ul style="list-style-type: none"> ・民間主導の体制づくりを試みるも、事務を執れる方がおらず、結果的に事務局の負担増となったことから、事務局体制の強化が必要。 ・まちづくりに係る基礎データ不足のため、成果指標の設定が難しい。 ・まちづくりのイニシアティブをとる人材不足。 ・民間においても協力者が不足するなど人材不足の状態にある。 																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	<ul style="list-style-type: none"> ・当市観光の大きなウエイトを占める魚介類について、民間が前面に立って、その魅力の向上と情報発信に取り組み、地域経済の活性化や官民連携によるまちづくりに貢献している。 ・今後事業の進め方等について議論を深め更なる事業の推進につなげていく。